

平成24年度
実施事業

事務事業名 スクールバス運行事業

| 区分 | No | 名称 |
|--------|-----|--|
| 章 | 5 | 豊かな個性と人間性を育むまち |
| 節 | 2 | 学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む |
| 施策 | 2 | 地域に根ざした魅力ある学校づくり |
| 小分類 | 3 | 教育環境の充実 |
| 主要な施策 | 1 | ①児童生徒の安全確保 |
| 事務事業番号 | 002 | 事業開始年度 平成 10 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計 |

| | | | |
|-----|-----|-------|----------|
| 部 名 | 教育部 | グループ名 | 学校教育グループ |
|-----|-----|-------|----------|

事務事業の概要

《Plan・Do》

| | |
|-----------|--|
| 目 的 | (事務事業の実施目的を具体的に記入してください) |
| | 札内町・来馬町に居住する児童・生徒を幌別小学校・幌別中学校へ、カルルス地区・上登別地区・登別温泉地区・中登別地区に居住する児童を登別小学校へ送迎するスクールバスを運行することにより、遠隔地から通学する児童・生徒の負担及び保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。 |
| 事業内容及び実績 | (事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください) |
| | 札内町・来馬町に居住する児童・生徒を幌別小学校・幌別中学校へ、カルルス地区・上登別地区・登別温泉地区・中登別地区に居住する児童を登別小学校へ送迎するスクールバスを運行した。 【事業実績】 ・対象者数 幌別小学校 6名 幌別中学校 4名 登別小学校 40名 |
| 今後の方向性 | (次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) |
| | 遠隔地から通学する児童・生徒の負担及び保護者の経済的負担の軽減を図り、送迎バスの運行により、児童・生徒の登下校の安全性を確保するために、今後も継続して事業を実施する。 |
| 根 拠 法 令 等 | (事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) |
| | |

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

| 区 分 | | 単位 | H23年度 決算 | H24年度 決算 | H25年度 当初予算 | H26年度 見込 | H27年度 見込 |
|--------|----|----|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 国庫支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 地方債 | 名称 | 千円 | | | | | |
| その他 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | 名称 | 千円 | 13,577 | 15,015 | 15,225 | 15,225 | 15,225 |
| 事業費 合計 | | | 13,577 | 15,015 | 15,225 | 15,225 | 15,225 |

指標の推移

《Check》

| 区 分 | | 単位 | 区分 | 23年度 実績 | 24年度 実績 | 25年度 目標 | 26年度 目標 | 27年度 目標 |
|----------|--------|----|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 成果 指標 | ① 利用人数 | 人 | 目標値 | 52 | 52 | 52 | 52 | 52 |
| | | | 実績値 | 54 | 50 | | | |
| | ② | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |

| 比較 | | 《 Check 》 |
|--|--|-----------|
| 平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等 | 左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等 | |
| <p>札内町・来馬町に居住する児童・生徒を幌別小学校・幌別中学校へ、カルルス地区・上登別地区・登別温泉地区・中登別地区に居住する児童を登別小学校へ送迎するスクールバスを運行することにより、遠隔地から通学する児童・生徒の負担及び保護者の経済的負担を軽減する。</p> | <p>遠隔地から通学する児童・生徒の負担及び保護者の経済的負担の軽減を図り、送迎バスの運行により、児童・生徒の登下校の安全性を確保するために、今後も継続して事業を実施していく。</p> | |

| 担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） | | 《 Check 》 |
|-----------------------------------|---|---|
| 1. 事務事業の妥当性について | | |
| 市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？ | <input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="checkbox"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="checkbox"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="checkbox"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している | 判断理由及びその他所見 児童生徒の通学の安全に配慮する必要がある。市が本事業を行うことは妥当である。 |
| 2. 事務事業の必要性について | | |
| 市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？ | <input type="checkbox"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="checkbox"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="checkbox"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い | 判断理由及びその他所見 遠隔地から通学する児童生徒の負担及び保護者の経済的負担を軽減し、登下校の安全性を確保するために必要な事業である。 |
| 3. 事務事業の効率性について | | |
| 事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？ | <input type="checkbox"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="checkbox"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="checkbox"/> ④ 将来的に効率性を向上できる | 判断理由及びその他所見 本事業に係る経費は、スクールバス運行に伴う委託料であり、経費の削減は事業の実施を困難にする。 |
| 4. 事務事業の成果について | | |
| 目的を達成するための成果はあがっていますか？ | <input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="checkbox"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="checkbox"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="checkbox"/> ④ 成果の把握は困難である | 判断理由及びその他所見 スクールバスの運行により、通学の安全が確保されている。また、保護者の経済的負担も軽減されている。 |

| ①担当グループによる評価 | | 《 Check 》 |
|--------------|--|-----------|
| 維持 | 左記の評価を選択した具体的な理由(根拠) 遠隔地から通学している児童生徒の安全確保と、保護者の経済的負担を軽減するために必要な事業である。 | |

| ②行政評価会議による評価 | | 《 Check 》 |
|--------------|--|-----------|
| 改善 | 備考 本事業に係る経費や契約手法等の事業内容について精査を行い、効率的な事業実施に努めること。 | |